



2014年5月吉日

報道関係各位

公益社団法人日本精神神経学会

日本精神神経学会 プレスセミナーのご案内

I. 日本精神神経学会の活動と将来展望

II. 「第110回日本精神神経学会学術総会」注目トピックス

- A. 「地域でその人らしく暮らす」を実現するための政策・医療・財源
- B. 大人の発達障害という診断の意義
- C. 精神科医療における利益相反

演者) 北里大学医学部精神科学 主任教授 宮岡 等

司会) 奈良県立医科大学精神医学講座 教授 岸本 年史

日時: 2014年6月11日(水) 16:00~17:00

会場: TKP 大手町カンファレンスセンター「ホール 22E」(KDDI 大手町ビル 22F)

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日本精神神経学会では、「世界を変える精神医学—地域連携からはじまる国際化—」をテーマとし、「第110回日本精神神経学会学術総会」を2014年6月26日(木)~28日(土)にパシフィコ横浜にて開催いたします。

つきましては、学術総会に先立ち、会長 北里大学医学部精神科学 主任教授 宮岡等より、「第110回日本精神神経学会学術総会」のトピックスに関してプレスセミナーを2014年6月11日(水)に開催します。

<主なトピックの概要>

■ 「地域でその人らしく暮らす」を実現するための政策・医療・財源

精神保健福祉法が改正される中、地域移行は大きな課題となっています。地域のコミュニティの中で精神疾患を抱えながらも暮らしやすい社会を実現するために必要な視点を紹介します。

■ 大人の発達障害という診断の意義

大人の発達障害という考え方は、学校や職場で有用であるが、過剰診断や周囲の人の理解の仕方などに新たな問題を生んでいる。大人の発達障害という診断の功罪、あるいは問題点についてご紹介します。

■ 精神科医療における利益相反

近年、大きな問題になりつつある医師と企業の利益相反について、うつ病の痛みのCMなどの事例も交え、現状の課題や今後求められる方向性をお話いたします。

日本精神神経学会は、1902年に設立された精神・神経医学領域の学術団体で、会員数は15,000人を超え、精神神経科の医師の多くが所属する医学会となりました。「日本精神神経学会学術総会」は、年に1回学会が主催する学術総会で、今年110回目を迎えます。長い年月を経て、例年6,000人前後の医師らが参加する学術会合になりました。

ご多忙中のことと存じますが、是非ともご臨席賜りたくご案内申し上げます。

敬具

* お手数ですが、6月6日(金)迄にご出欠をご連絡いただきますようお願いいたします。

記

■日 時 2014年6月11日(水) 16:00~17:00 (受付開始 15:30)

■会 場 TKP 大手町カンファレンスセンター「ホール 22E」
(東京都千代田区大手町 1-8-1 KDDI 大手町ビル 22 階 TEL 03-3243-5231)

■プログラム(予定)

司会) 奈良県立医科大学精神医学講座 教授 岸本 年史

○講演 I. 日本精神神経学会の活動と将来展望

II. 「第 110 回日本精神神経学会学術総会」の注目トピックス

- A. 「地域でその人らしく暮らす」を実現するための政策・医療・財源
- B. 大人の発達障害という診断の意義
- C. 精神科医療における利益相反

演者) 北里大学医学部精神科学 主任教授 宮岡 等

○質疑応答

■会場地図



<最寄駅>
「大手町駅」C1 出口直結
東京メトロ 丸の内線
東西線
千代田線
半蔵門線
都営三田線

「東京駅」丸の内北口から
徒歩 9 分

以上

— 報道関係者からのお問い合わせ先 —
日本精神神経学会 プレスセミナー事務局
TEL : 03-3263-0866